

小学校6年生の

将来の夢★希望



大山 詩心 さん
大石田小学校

★人を支える福祉の仕事がしたい

私の将来の目標は、人を支える仕事に就くことです。学校の図書室にある『光とともに』という本を読んだことがきっかけです。この本は、生まれつき自閉症という障がいをもった子が周りに支えられながら生きていくお話です。そのときから障がいのある人の存在を知り、福祉の仕事などに興味をもちました。人を支える福祉の仕事は、資格を取るのが難しく、勉強も大変だと聞きました。だから資格を取るために、中学生になってからもたくさん勉強をしています。そして、介護福祉士や保育士、盲導犬訓練士など、人を支えることに関係のある仕事を目指していきたくです。これから目標が変わっていても、人を支えたいという思いを大切に生活していきたくと思います。



柴田 康誠 さん
大石田南小学校

★サッカー選手になりたい

ぼくの夢は、JFAの選手になることです。6年ほど前に、テレビでサッカーの試合を見たことがきっかけです。その試合はとてもおもしろくて、わくわくして、「ぼくもやってみたく」と思うようになりました。だから、ぼくはサッカーを習い始めました。そこで感じたのは、サッカーは見るだけではなく、やる側でもとてもおもしろいということです。ますます「これからもサッカーを続けていきたいな」と思うようになりました。JFAの選手になるために、どんなにつらい練習でも続けたいです。そして、戦術面も勉強して、将来、監督の起用にこたえられるような選手になりたいです。



石山 由望 さん
大石田北小学校

★美容師になって自分の店を開きたい

私の将来の夢は、美容師になって自分の店を持つことです。なぜ美容師になりたいかという、私は友達のかみの毛を結んだり、アレンジをしたりするのがとても好きで、楽しいからです。それに、とこやさんに行くたびに私もやってみたくなと思ったからです。私は、知らない人と話すのが苦手だけど、日ごろから、友達とのコミュニケーションを大切に、だれとでも会話ができるようになりたいです。今年中学生です。中学校でも、たくさんの友達と仲よくし、コミュニケーションを大切にしていきたいです。自分のお店を持つ美容師になるために、一生懸命勉強し、夢を忘れずに、くじけずにチャレンジしていきたくです。

★学校の先生になりたい

ぼくの将来の夢は、学校の先生になることです。今までぼくに関わってくれた全ての先生方のおかげで、今の自分がいると思ったからです。他にも、大変そうなときも笑顔で、楽しそうに仕事をしている姿に憧れをもったことがきっかけです。

ぼくは昔、友達とのけんかが絶えませんでした。心が傷ついたこともあります。どうすれば学校からこのようなことがなくなるのか。そう考えたときに、自分が学校の先生になってくなくていいのだと思いました。たくさんの子どもたちの心を育てていきたくです。ぼくは、先生方に感謝しています。この感謝の気持ちを力にして、自分が先生になったら、将来大きく活躍していきたく子どもたちを育てていきたくと思います。



青柳 爽介 さん
大石田小学校

★板前になって自分の店を開きたい

ぼくの将来の夢は、板前になることです。大石田町で、和食のお店を開きたいです。

去年、お父さんの友達のお店に行ったことがきっかけです。和食の魚のに物を食べて、感動しました。その日は、いろいろな料理を食べたけれど、魚のに物は特に思い出に残っています。たれは多くもなく、少なくもなく、やさしい味。ほどよい味でした。その味に感動して、板前をめざすようになりました。

これからは、国語や算数がんばって勉強して、料理学校へ行きたいです。そして、自分の店を開いて、はんじょうさせたいです。

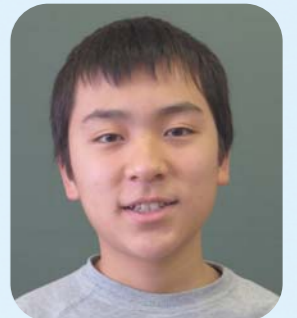


細谷 琉翔 さん
大石田南小学校

★プロ野球選手になりたい

ぼくは、将来プロ野球選手になりたいです。ぼくは、ソフトバンクの柳田悠岐選手にあこがれています。柳田選手は、センターを守っています。柳田選手のように足が速くなりたいです。また、フライを落とさないように、基本練習をきちんとしたいです。さらに、ぼくは打率も上げたいです。試合では、必ず塁に出たいです。その気持ちを意識しながら、練習に取り組みたいです。

中学校では、野球部に入りたいです。柳田選手のように一番センターになりたいので、毎日、家の車庫で、素振りをして、打率を上げたいです。柳田選手みたいな人になれるように、目標をもってがんばります。



齋藤 旬 さん
大石田北小学校

みんなの将来の夢は何か?



今年の4月に中学校へと進学する町内の小学6年生6人から、将来の夢や中学校での目標についての作文を寄せていただきました。

これからの将来を担う子どもたち。それぞれ大きな希望を胸に抱いています。夢を実現するため、一歩一歩大切に歩いていってください。